

粘り強い 試合展開を



20日甲子園球場で。校章入りネクタイと共に



55

3月20日(金)、甲子園球場の中央特別自由席で各対戦校の監督が対談した。対談は選抜大会の主催である毎日新聞社の記者が、監督に代表で質問する形式で行われた。

今井監督は対戦相手である千葉県習志野高校の小林監督と共に取材を受けられた。彦根東、習志野の代表質問は後藤由耶記者(大津支局)が担当された。

互いのチームの印象は?

小林監督(以下:小):21世紀枠とはいえ、レベルの高い近畿の代表と考えている。昨日の甲子園練習の守備を見て、内野を中心とした洗練されたチームであることが分かった。文武両道を実践されており、高校野球の理想形。

今井監督(以下:今):接戦を制してこられ、選手も相当自信を持っておられるはず。投手が多彩で、左バッターも多く、機動力に優れたイメージがある。

チームの状態は?

小:(地元を離れての)慣れない生活で選手達に疲れも見えたが、1・2日練習して調整した。初戦まではもう少し時間があるから、調子が少しずつ上がってくれば。

今:彦根の冬は雪が多く、グラウンドも狭い

習志野の行進練習



ため、例年冬季に実戦練習を行うことは難しかったが、2月には周囲の協力を得て、南の暖かいところで練習する機会を得た。実戦練習、対外試合を通して、今まで見えなかった課題が見えてきて、いかに解決していくかを考えた。チームはだいたい思っていた通りの仕上がりに具合。

理想の試合展開とは?

小:周囲から、習志野は粘り強い、接戦を制すと言われるけれど、裏を返せば中盤まで相手についていく試合ができていないということ。前半で点差が開かないよう、相手について、チャンスを自分たちのスタイルでものにしたい。

今:接戦を制するのが彦根東の一つの課題で、競り勝てる

よう練習していきたい。粘り強くゲームを進めていきたい。初戦に向けての意気込みを小:試合が終わったときに、自分たちの力を出せたと思え、応援してくださいと皆さんの方に喜んでいただける試合をしたい。選手達が躍動してくればと思う。

今:全国で文武両道を目指して頑張っているチームに勇気を与えられるような試合をしたい。正々堂々フェアプレーをして、選手達にもしっかりと楽しんでもらえれば。

折り込みキマグレ

川瀬新聞舗販売域(芹川以北の市内)に配達される中日新聞、産経新聞、日経新聞の朝刊の折り込みに「キマグレ」が20日から挟まれている。このほど同店の川瀬雅貴さんより提案があり、お言葉に甘える形になった。川瀬さんは「学校新聞なので他の新聞にはない面白さもあるだろうし、東高に1番近い販売店として応援しようと思った。お客さんにも東高を応援している人がいる」と話してくださいました。川瀬新聞舗さんにはこの場をお借りして、感謝申し上げます。



速報新聞

キマグレ

発行所
彦根東高等学校
新聞部
彦根市金亀町4番7号